

海岸地域の活性化について

問 ブルーフラッグの取得による海岸地域の活性化について、市長の考えを伺います。

答 市長 私たちの宝である九十九里海岸を、次世代に伝えることが最大の目的です。世界のビーチ共通の、安心安全の印が掲げられることを喜ばしく思います。地域の人々や、観光・海水浴場関係者と連携し、美しい海水浴場を維持して行きたいと考えます。

問 本須賀海岸への来場者数について伺います。

答 経済環境部長 平成29年度は4万3816人、30年度は4万3486人です。

問 駐車場の駐車台数及び利用率について伺います。また、利用率は平日と土・日曜日で差はあるか伺います。

答 経済環境部長 総台数はバス4台、普通車742台です。利用率は、海水浴場開設期間中で、平日のバスは13.4%、普通車は19.7%です。土・日曜日は、バス18.8%、普通車66.3%です。

問 年間の総駐車台数と利用料金の設定、料金の収入額、維持管理料について伺います。

答 経済環境部長 平成29年度は1万2650台、収入額は506万4900円、30年度は1万2091台、収入額485万1800円です。料金は大型が1000円、中型が700円、普通車が500円、二輪が100円で、市内の方は無料です。維持管理費は、料金徴収と駐車場内の警備委託料で、29年度404万7840円、30年度431万9460円です。

問 近隣市町の、海水浴場の駐車場の状況について伺います。

答 経済環境部長 駐車台数は、九十九里町、3万6835台、大網白里市、2万2265台、横芝光町、1079台です。料金体系は市と同じです。

問 認証取得記念として、試験的に市外の方も無料にしてはどうですか。

答 経済環境部長 海岸を維持するには、清掃や駐車場の整備、ライフセーバー等の確保で、年間約6千万円の経費が必要です。ブルーフラッグは環境面や安心とサービスの審査基準も

あり、安全確保が必要なため、ご理解をお願いします。

問 今年のゴールデンウィークに本須賀海岸に行った際、沢山の人で賑わっていました。海の家もないため、キッチンカーなどの移動販売で、地域を活性化させてはと思いますが、どうですか。

答 経済環境部長 本須賀海岸には海岸法等が適用されており、海岸を利用する公衆の行事に用いる簡易な施設等で、一時的な使用であれば、市及び県へ申請することで設置は可能と考えます。ただし、キッチンカーや販売等の、単体での出店等はできません。

問 ブルーフラッグでの、環境教育の今後の取り組みについて伺います。

答 経済環境部長 7月6、7日に、環境教育セミナーを開催する予定です。6日は、ブルーフラッグや環境教育の関係性について、座学での勉強会を開催します。7日は、海岸でのビーチクリーン活動、植物や動物の生態系を学ぶ講座を予定しています。

問 築山の概要について伺います。

答 総務部長 井之内地区は周囲に高台がないため、一時的に避難できる施設整備の要望が地区からありました。海岸から約800mで、30分以内に徒歩で避難が可能な土地、約1haを購入し、海抜10mの盛り土を行います。山頂には、非常用トイレや備蓄倉庫を整備し、津波災害に備えます。

問 現在の状況及び工事開始の時期について伺います。

答 総務部長 昨年の12月に用地の買収が終了しました。令和2年度末の完成に間に合うように、工事発注を予定しています。



ブルーフラッグが掲げられた本須賀海岸

問 先般、犬吠埼沖で、貨物船同士の衝突事故が起き、燃料の重油が流出したとニュースで聞きました。市の海岸への影響はありますか。

答 経済環境部長 事故の翌日、また、27日に担当課と現地を確認した結果、市近郊の海岸に影響は有りませんでした。

築山の整備について

問 築山の概要について伺います。

答 総務部長 井之内地区は周囲に高台がないため、一時的に避難できる施設整備の要望が地区からありました。海岸から約800mで、30分以内に徒歩で避難が可能な土地、約1haを購入し、海抜10mの盛り土を行います。山頂には、非常用トイレや備蓄倉庫を整備し、津波災害に備えます。

問 現在の状況及び工事開始の時期について伺います。

答 総務部長 昨年の12月に用地の買収が終了しました。令和2年度末の完成に間に合うように、工事発注を予定しています。

問 築山の完成後の維持管理について伺います。

答 総務部長 地域の方々に関わっていただくことが大切だと考えます。草刈り等の管理は、地元自治会等と協議を進めていく予定です。



新国会 議員 櫻田基介